

<第4179回>

目的地：白山(加賀)

担当者：松岡康文

実施日：2021年10月9日(土)~10日(日)

形式：小屋泊

費用：¥15,000.-

参加者：5名

岩谷多恵子・坂原通仁・鹿田裕子・松岡康文・脇門律子

行程：

10月9日 天気：晴れ

[JR]大阪(7:40) サンダーバード5号 金沢行 ⇒(9:36)福井

[車]福井(10:00)⇒(11:30)市ノ瀬 (車中で昼食)

市ノ瀬(12:00)北陸鉄道バス⇒(12:25)別当出合

別当出合[1,260m]<砂防新道コース>⇒(13:20)中飯場⇒(15:05)甚之助避難小屋[1,960m]⇒(15:45)南竜分岐
⇒(16:15)南竜山荘[2,080m] (素泊で自炊)

10月10日 天気：晴れ

南竜山荘<エコーライン>(5:00)⇒(6:40)室堂[2,450m]⇒(7:35)御前峰[2,702m]⇒[お池めぐり]⇒(8:15)翠ヶ池
⇒(9:10)室堂

室堂<観光新道>⇒(10:00)黒ボコ岩⇒(10:40)殿ヶ池避難小屋⇒(11:50)別当坂分岐[1,680m](12:10)⇒
(13:10)別当出合[1,260m]

別当出合(13:15)⇒北陸鉄道バス⇒(13:35)市ノ瀬

[車]市ノ瀬⇒(14:10)白峰温泉総湯で入浴(15:00)⇒(16:25)福井

[JR]福井(17:22) サンダーバード36号 大阪行 ⇒(19:21)大阪 解散

感想：

9日

開始一番、リーダーの失敗。サンダーバード3号(7:00発)は、コロナのため、やはり運休。大阪出発は5号(7:40発)となりましたが、みんな嫌な顔をせず、大丈夫と優しい声をかけてくれました。レンタカーで、昼前に市ノ瀬の駐車場に無事に到着。駐車場はほぼ満杯状態で、白山はとても人気がある山なんだとみんなびっくりしました。入念に準備体操し、別当出合の吊り橋の前で、写真撮影し、いざ、出発。砂防新道コースは、避難小屋等の目印間の距離が長く、高度2,080mまで、800mの標高差を登る必要があるため、高度順応も考えて、30分毎に休憩しながら、ゆっくり登りました。白山は2回目の方もおられ、前は雨で何も見えなかったけど、今回、天候に恵まれ、こんな山容だったんだ！という声が聞こえました。紅葉もちらほらと見られ、まあまあ楽しめました。秋というより夏の終わりという感じで少し暑いぐらいでした。南竜山荘には、何とか16:15に到着でき、ホッとしました。何と、南竜ヶ馬場のテント場は、10/1から使用再開になっており、夜、偵察に行ったら、7張りのテントがありました。南竜山荘は、水は豊富。トイレも綺麗、スマホの充電も無料、宿泊客は多かったですが、6畳の個室を5人で使用させて頂き、とても快適でした。夕食は、炊事エリアで、自炊。各自の特色のある食事メニューが興味深かったです。生のお米から30分かけて美味しいご飯を炊いた方もおられました。夜は、満天の星空が綺麗でした。

10日

今日の行程は長いので、3:45に起床し、5:00に出発。早朝は少し肌寒かったです。ヘッドライトをつけて行動しましたが、すぐに日の出となり、明るくなると、周りの景色がよく見えて、とても綺麗でした。エコーラインコースは、木道歩きが気持ちよかったです。途中、白山の山容が見えた時には、感嘆の声が上がりました。室堂から御前峰までは、体力温存のため、荷物を軽量化して登りました。御前峰では、360度の眺め、北アルプスの槍ヶ岳らしきものが見え、コーヒーで祝杯を上げました。御池めぐりでは、翠ヶ池のハワイアンブルーの色が綺麗で、思わず、全員で写真撮影。千蛇ヶ池には雪が残っていました。室堂に無事に戻り、ゆっくり休憩。室堂は、トイレが新設されていました。帰りの観光新道コースは、人が少なく、スムーズに歩けました。途中、トレランで、足を捻挫した方がおられ、鹿田さんが、痛み止めの薬を渡してくれました。別当坂分岐からは、激下りで、疲れ気味の身体には、少しキツかったです。今回、みんなのチームワークのおかげで、ほぼコースタイム通りに行動できてよかったです。下山後、白峰温泉総湯で、気持ちよく、疲れを癒しました。坂原さんの運転がうまく、スムーズに移動でき、帰りのサンダーバードは、1つ早い便で帰ることができました。またひとついい山の思い出ができました。参加者の皆さん、ありがとうございました。